

第1グループ 事業番号⑦

事業シート (概要説明書)								
担当局名		予算事業名	ドリームまつり費					
担当部名		総合計画上 の位置付け	芸術・文化の振興	作成責任者				
担当課・係名	企画財政課企画係			須山 りつ子				
事業開始年度	昭和46年	根拠法令	大刀洗町ドリームまつり開催要綱					
1 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施（実行委員会形式であるが、実態として行政が担っている）							
	<input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）							
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先：実施主体：）							
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）							
2 事業概要	(1) 目的 (何のために)	大刀洗町の文化及び産業の将来を展望し、町民、団体等の総参加により、文化活動の発展及び産業の振興を図り、健康福祉に対する理解を深めるとともに、ふるさと大刀洗の再認識に寄与するため。						
	(2) 対象 (誰・何を対象に)	町民・町内団体						
	(3) 事業内容 (手段、手法など)	町内関係団体等をもって構成する運営委員会が主催。 毎年テーマを定め、おおむね11月第2土・日曜日に開催。 円滑な運営を図るため、ドリームまつりに参画する関係団体の職員で構成した実行委員会・企画調整委員会を設け、部会ごとにその部門の企画運営に当たる。 文化部門は、サークル等の芸能発表、作品展示、主張大会等 産業部門は、農産物や飲食物等の販売 健康福祉部門は、子育て支援関連のイベント 企画係は、まつりの総括及び屋外イベントや抽選会等						
	(4) 事業の必要性	町のまつりとしての機能は重要であり、必要。 町民及び町内団体の日頃の活動を発表する大きな機会であり、ドリームまつりの開催自体が産業・文化・健康福祉への理解と町民の積極的な参加を促している。ひいては、地域を愛し守り育てるにつながる。						
	3 コスト	平成22年度		人件費				
(1) 事業費	3,695 千円		{	職員構成	概算人件費 (平均給与 × 従事職員数)		従事職員数	
(2) 人件費	3,835 千円			担当正職員	3,835	千円	0.5	人
(3) 総 計	7,530 千円			臨時職員他	0	千円	0	人
4 事業費 (財源内訳・ 単位千円)	年 度	総 額	実施方法が補助金の場合、 事業費の負担割合		財源内訳			
	H19(決算)	2,724			一般財源	3,595		
	H20(決算)	2,881			その他	100		
	H21(決算見込)	3,297						
	H22(予算)	3,695						
5 平成22年度 事業費内訳	8. 報償費 390千円 (抽選会商品等300、開会式手話謝礼20) 11. 需用費 210千円 (プログラム印刷費120、屋外配電盤50、その他消耗品) 13. 委託費 1,595千円 (ステージアトラクション、似顔絵、交通整理委託料等) 14. 使用料及び賃借料 1,500千円 (テント、イス、机、及び設営一括)							

第1グループ 事業番号⑦

事業シート (概要説明書)					
担当局名		予算事業名	ドリームまつり費		
担当部名		総合計画上 の位置付け	芸術・文化の振興		作成責任者
担当課・係名	企画財政課企画係				須山 りつ子
6 事業実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	展示・ステージ部門参加者数	人	1,010	865	1,033
	模擬店等出店数	件	36	41	45
7 単位当りコスト (事業費/活動指標)	事業費／開催回数 (1回)	千円	2,880	3,294	3,695
8 成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>ドリームまつりの趣旨から、多くの来場者を迎える満足していただくことが目標。しかし、来場者数の統計をとっていないため、成果指標とすることはできない。 反省会を行い、毎年事業のチェックとさらなる改善を図っているが、出店関係者ではない一般の来場者からは意見集約等行っていない。</p> <p>ひとつの指標として、展示やステージ部門への参加者と模擬店等の出店数を集計し、これらがますます増えていくような賑わいのあるまつりにしていきたい。</p>				
9 成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	展示・ステージ部門参加者数	人	1,010	865	1,033
	模擬店等出店数	件	36	41	45
10 事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>昭和46年に町民文化祭として始まったまつりは、文化産業まつり、文化産業健康まつり、ドリームまつりとして拡大開催してきた。 「町民・団体の総参加により、ふるさと大刀洗の再認識をはかる」という事業目的に立ち返ってみれば、参加団体の発意により事業実施を行うことが重要である。 現行は、実行委員会形式でありながら行政主導となっており、運営方法については別の方法もありうる。 今後はアンケートを実施するなどして町民の意識を調査し、まつりがどうあるべきかを見直していく必要があると考えられる。</p>				
11 比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>北野コスモスマつり（久留米市） まつり開催当初は役場が事務局となり実施していたが、商工会を中心とする実行委員会形式に変更。行政からは担当者2名が会議に出席、打合せを行っているとのこと。 （事業費約9,500千円 内久留米市よりの補助金8,674千円）</p>				
12 特記事項 (事業の沿革等)					